

第36回 秋田県教育研究発表会

～郷土あきたの教育への提案～

期日：令和4年2月3日(木) 場所：秋田県総合教育センター

日 程

新型コロナウイルス感染症対策のため1日のみの開催となります

9:30	10:00	11:50	12:50	13:05	14:15	14:30	16:15
受付	口頭発表①②③	昼食 休憩	開 会 式	センター 研究発表	休 憩	講 演	

※冬期間、当センターの食堂は営業していません。昼食は各自でご準備願います。

センター研究発表

各校における新学習指導要領の全面实施を支える「センター研究」の成果を発表します

センター研究1

実践的指導力習得期にある教員育成のための校内研修プランの提案

習得期（初任～3年目）の教員の育成に向けた校内研修が充実するよう、校内研修の現状や習得期の教員の傾向を分析し、より多くの教員による関わりを促すための工夫を取り入れたワークショップ型の校内研修プランを提案します。

センター研究2

子どもが資質・能力を活用・発揮できる授業づくりに役立つアイデアの提案

各教科ごとに構想してきたアイデアを、総合教育センターでの研修講座で取り上げるとともに、講座を受講した教員が作成したアイデアを収集したり、実践状況の聞き取りをしたりしながら、本県教員と共に研究を推進してきました。

センター研究3

学びにくさを抱えた児童生徒の理解と学習上の配慮

－特別支援教育の視点を生かして－

受講者を中心に行ったアンケート調査の結果「書くこと」に関して学びにくさを抱えている児童生徒が多いことが分かりました。そこで本研究では「書くこと」に着目し、児童生徒の理解と指導方法、ICTを活用した手立て等について研修講座資料としてまとめました。

※研修プラン、アイデア、研修資料は当センターウェブサイトに掲載する予定です。

※いずれのセンター研究も、2年計画の最終年次の発表です。

講 演

これからの教育に関する新たな知見が得られる機会です

講演題：被災地復興に見る「今、求められる新たな教育」

講 師：福島大学教育推進機構 高等教育企画室 特任准教授
一般社団法人ふくしま学びのネットワーク 理事・事務局長

前川 直哉 氏



<プロフィール>

1977年、兵庫県尼崎市生まれ。灘高校3年在学時に阪神・淡路大震災で被災。東京大学教育学部卒業、京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程単位修得退学。京都大学博士（人間・環境学）。灘中学校・高等学校教諭（地歴・公民科）在職中に起こった東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故の後、勤務校の生徒とともに福島・宮城の被災地を訪れる「東北訪問合宿」をくりかえし実施。2014年3月に担任学年の卒業にあわせ同校を退職し、4月より福島県福島市に転居。非営利の学習支援団体「一般社団法人ふくしま学びのネットワーク」を立ち上げ、事務局長を務める。2018年4月より福島大学特任准教授に就任。研究での専門はジェンダー・セクシュアリティの社会史。